



夏のおいしさ、盛りだくさん!

メロン・スイカフェスティバル



大歓声の中行われたスイカ早食い競争

つがるブランド推進会議（会長・福島市長）が主催する「第6回メロン・スイカフェスティバル」が8月11日（祝日・山の日）、つがる地球村で開催され、県内外から訪れた大勢の家族連れが市の特産品やさまざまなアトラクションを楽しみました。

会場では、出荷の最盛期を迎えているスイカの「羅皇」や「タカミメロン」などを特別価格で販売。スイカは用意した150箱が即完売となって約100箱を追加、メロンも2200箱以上が売れる盛況ぶりを見せました。

特設ステージで行われたスイカの早食いや種飛ばし競争のほか、流しそうめんコーナーなども人気を集め、会場は子どもたちの歓声で包まれていました。



メロンとスイカを買い求める来場者でにぎわいました



行列が絶えなかったメロンスムージー



人気を集めた流しそうめん



白老牛のバーベキューを満喫



パパ真剣勝負!スイカ種飛ばし競争

初の野外映画祭

「シネマdeナイトin地球村」

8月11日、夜のつがる地球村円形劇場で「シネマdeナイトin地球村」が開催されました。これは、市内初となる野外映画祭で、映画のロケ誘致や撮影協力を行う「つがる市フィルムコミッション（坂本憲彦会長）」が主催。会場には、縦10m、横14.4mを誇る県内最大級のスクリーンが設置され、合併10周年記念で制作した短編映画3部作や長編アニメ「ペット」などを上映。訪れた家族連れらは、夜空と森に囲まれながら、ダイナミックな映像を楽しんでいました。

上映前に行われたセレモニーでは、短編映画3部作の総合プロデューサー・千村利光さん、「ふりむくな」の主演俳優・篠田諒さんと岩渕崇監督がゲストとして出席し、開催を祝いました。



円形劇場を活用して迫力ある映像を実現

つがる市立図書館が1周年

こころ豊かな人づくりと 市民の豊かな暮らしを育む



本と気軽にふれあえる居心地の良い空間として市内外の来館者に親しまれるつがる市立図書館。

一年間で31万793人も来館者を迎えています。



来館30万人目の亀川さん。
「忙しい日常の中、この図書館に来るのが自分へのごほうび。学生から年配の方までが勉強する姿を見ると、自分も学び続けていたいと感じる。節目を飾れてうれしい」



向陽小読書部によるパネルシアター



プレミアムメロンの振る舞いが好評

7月29日、30日、イオンモールつがる柏で一周年記念セレモニーやイベントが開催されました。29日に行われたセレモニーでは、7月17日に30万人目の来館者となった亀川真都子さん（森田町）に、市長らが記念品を贈呈。続いて、図書館の山下幸子業務責任者が市内小学生5人にスタッフシャツを贈り、一日図書館スタッフに任命しました。

イベントでは、作家の童門冬二さんの講演会や、つがる市グルメフェアなどが行われ、多くの市民らでにぎわっていました。

館長を務める葛西教育長は「蔵書の充実を図りながら、これからも皆さまに愛される図書館を目指して参ります」と力強く語りました。

市内の小学生が「1日図書館スタッフ」



返却窓口立つ児童

山崎来未さん（柏小5年）は「本を返す棚を見つけるのに苦労した。大変だけど楽しかった」と話し、スタッフの大変さを実感することで、図書館をもっと好きになった様子でした。



笑顔で来館者を迎えたスタッフ。左から瓜田結杏さん（育成小4年）、山形玲偉君（向陽小6年）、木村響さん（穂波小6年）、山崎来未さん、畠山倅奈さん（柏小5年）